



順天堂大学医学部附属順天堂医院 がん治療センター ニューズレター

平成 22 年 9 月 第 5 号

目次

表紙	「胃がんの手術治療」 食道・胃外科 准教授 岩沼 佳見	3 ページ	取材ノート「前立腺がんの検査」 泌尿器科 教授 藤目 真
2 ページ	「化学療法室のお話」 化学療法室長 小松 則夫 ・がん治療センターからのお知らせ	4 ページ	「旬の食材」 栄養部 高橋 徳江 ・質問コーナー ・編集後記

「胃がんの手術治療」

食道・胃外科 准教授 岩沼 佳見

これをお読みになっていらっしゃる方の中には、ご自身あるいは身近な方が胃の手術を受けられた、あるいはこれから受けられる方がいらっしゃるかと思えます。今回は胃の手術に関するお話です。

胃がんの手術とは

胃がんの治療のためには胃の壁を広く取り除くことと同時に、胃の周りにおけるリンパを取り除くことが必要です。これは胃がんの細胞が胃壁の中に広がっている場合や、胃の周りにおけるリンパへ転移していることがあるからです。このため、目で見える病気の範囲以上の胃と周りの組織を切除しなければなりません。近年は麻酔技術の発達や胃の切除範囲をできる限り縮小する方法、腹腔鏡を利用して体表面の創（きず）をなるべく小さくする方法が進み、患者さんの負担軽減につながっています。しかし病気を取り除く

という基本方針《根治切除》が大切であることには変わりありません。

胃手術後の経過

胃切除後の最も大きな身体の変化は、食物の貯留部が少なくなることです。一度に沢山の食事はとれませんが、飲み込んだ食物はこれまで通り消化吸収することが可能です。初めの頃は身体も驚いて食後に様々な反応を起しますが、六ヶ月も経ちますと次第に慣れてきます。皆さん一年が過ぎた頃には大分楽になられるようです。腸のつなぎ方も時代と共に変化していますが、平成二十二年七月の「日本消化器外科学会総会」で発表された多施設共同の検討結果では、従来の方法《ロニーロー法》が最近の方法《ロキック法》と比較して不利ではないと報告されています。以前に手術を受けられた方も古い方式と心配されることはありません。



「化学療法室について」

化学療法室長 小松 則夫



今年四月から高橋和久呼吸器内科教授の後任として化学療法室長に就任しました血液内科の小松則夫と申します。どうぞ宜しくお願い致します。専門は血液悪性腫瘍の化学療法で、「名医がすすめる最高のがんの名医五五〇人」(講談社)に名前が掲載されています。血液内科のホームページ (<http://www.juntendo-henkaology.org/>)もぜひご覧になってください。

さて順天堂医院は平成十五年に化学療法室を開設し、現在月約七百人を超える患者さんに化学療法を行っており、患者さんに少しでも安全、安心して治療を受けていただけるように、抗がん剤の安全管理と治療内容(レジメン)管理を厳格に行っています。レジメンはエビデンスに基づいたものを採用し、化学療法レジメン審査委員会(杉本耕一委員長)で厳しい審査が行



化学療法室のスタッフです。

われ、認可されたレジメンのみが使用可能となっております。さらに抗がん剤の投与量をコンピュータ上で入力をする際に、最大量以上の入力が出来ないように安全に配慮した設定がなされています。

今年四月から順天堂医院は地域がん診療連携拠点病院に指定されたこともあり、化学療法室の役割は益々重要になってきています。多くの患者さんから信頼される順天堂医院化学療法室を引き続き運営して行きたいと思っておりますので、運営に関する忌憚のないご意見、ご助言を遠慮なくお寄せいただけますようお願い申し上げます。

がん治療センターからのお知らせ

・第六回市民公開講座

「高度がん治療を目指して」

講演1「胃の臨床解剖と胃癌手術」

食道・胃外科 教授 梶山 美明

講演2「放射線治療の最新技術」

「放射線治療は怖くない?!」

先端放射線治療・医学物理学 助教

医学物理士 小澤 修一

場所：順天堂大学

有山登記念館講堂

日時：十二月十八日(土)

午後二時～四時

・がん茶論

患者さんやご家族と医療者が自由に語り、話し合う場です。(定員は三十名)

場所：三号館二階がん治療センター

時間：午後一時三十分～三時三十分

* 十月二日(土)、十六日(土)

* 十一月六日(土)

* 十二月四日(土)

・ミニレクチャー

患者さん向けのレクチャーです。

場所：三号館二階がん治療センター

時間：午前十時～十一時三十分

* 十月二十三日(土)

* 十一月二十七日(土)

* 十二月二十五日(土)

各種パンフレットあります！

がん治療センターには、がん情報に関する冊子が多数用意してあります。皆さんがお探しの情報が見つかるかもしれません。お持ち帰りいただける資料もございますので、3号館2階のがん治療センターへどうぞお気軽にお立ち寄りください。

取材ノート「前立腺がんの検査」

泌尿器科 教授 藤目 真

国立がん研究センターから発表された最新のがん統計によると、男性のがんの罹患数では、胃、大腸（結腸と直腸を含む）、肺に続き、前立腺が四番目となっています。今回は前立腺がんの検査について泌尿器科教授の藤目先生にお話を伺いました。

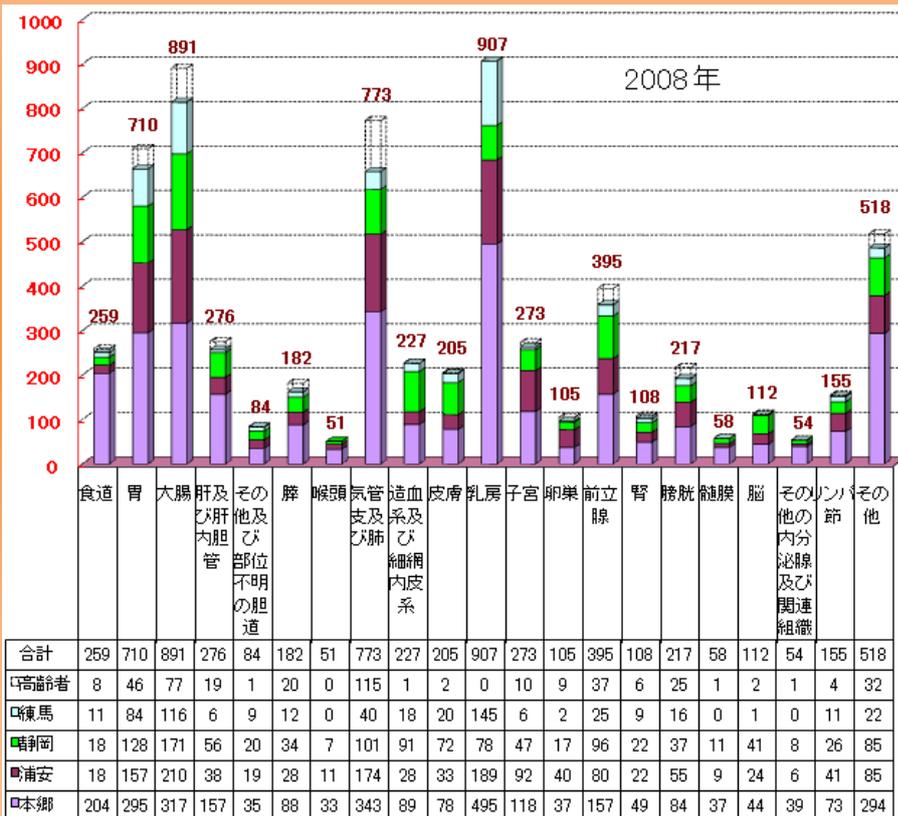
がん治療センター担当者以下がん治：最近、前立腺がんの患者数が多くなってきましたが、前立腺がんの検査はどのように行うのですか？
藤目：以前は（一九九〇年以前）は早期の前立腺がんが見つかるということとは殆どなかったのですが、近年では検査の技術が大きく進歩し、早期発見が可能になりました。一般的には、まず血液検査を行ないます。前立腺から分泌されるPSA（ユースエー）という物質の血液中の濃度を測定し、値が基準値よりも高ければ前立腺のがんが疑われます。次の段



階としては、直腸診（肛門から指を入れて、前立腺の表面を触る検査）を実施します。さらに検査が必要だと判断された場合は、生検（前立腺に針を刺し、組織を採取し顕微鏡で検査する）を行います。ただし、生検は数日間の入院が必要ですし、痛みを伴いますので、本当に必要だと判断された場合のみ実施します。
がん治：前立腺がんの症状にはどういったものがありますか？

院内がん登録 2008 報告 - 第 1 回 -

2008 年に当院を初診されたがんの患者さんは 3,066 名でした。2008 年には順天堂大学 6 病院のうち 5 病院でがんの診療をしておりますが、順天堂大学を訪れた初診のがん患者さんは全体で 6,560 名でした。大学病院としては最も多くのがん患者さんを診療した施設の一つです。



藤目：初期の前立腺がんには自覚症状がなく、見つけるにはPSA検査以外に方法がありません。心配な方は、PSA検査を受けられることをお勧めします。
がん治：どうもありがとうございました。

（担当：富宇賀・小澤）
 藤目 真（ふじめ まこと）
 昭和四十九年東京大学医学部卒業
 後、東京大学病院、米国マサチューセッツ総合病院などを経て、昭和六十二年順天堂順天堂大学医学部泌尿器科へ入局。平成五年より現職。



旬の食材

栄養部 高橋 徳江

果物を毎日とると、肺がん、胃がん、食道がんなどの多くのがん発症リスクを下げるということが明らかにされています。生活習慣病予防と明日の健康づくりのためにも、ビタミンやミネラルが豊富な果物を1日200gとるようにしましょう。今が旬の果物をご紹介します。

かき・・・みかんの約2倍に相当するビタミンCを含みます。カロテノイドの一種で強力な抗がん作用を持つ -クリプトキサンチンを含み、ビタミンCとの相乗効果によるがん予防効果も注目されています。



いちじく・・・ビタミンE、カリウム、カルシウムなどが含まれ、食物繊維の一種である水溶性のペクチンも豊富です。香り成分であるベンズアルデヒドや色素成分のアントシアニンには、がんを抑制する働きがあります。



ぶどう・・・ブドウ糖や果糖が主成分ですばやくエネルギーに代謝されるため、即効性の疲労回復効果があります。抗酸化作用の高いポリフェノールも豊富です。

なし・・・抗酸化作用の高いリンゴ酸やクエン酸など多種類の酸を含みます。



疲労回復、消化促進、便秘の予防や改善、整腸作用などに効果的です。

質問コーナー

(第5回市民公開講座の質疑応答より)

Q:大腸がんの治療を受けているのですが、腫瘍マーカーが上がってきた場合、その治療は効果がないということでしょうか?

A:血液中の腫瘍マーカーの値はがん細胞の数だけでなく、がん細胞での産生量やがん組織から血液への移行量など様々な要因の影響を受けています。腫瘍マーカーの上昇は要注意所見ではありますが、治療の有効性自体の直接指標ではありません。画像診断などを併せた総合的な判定が必要です。

(回答者:臨床検査医学 助教 三宅 一徳)



編集後記

最近、私が担当している講義に参加している学生が提出したレポートの中に「(人生では)出会うべき時に、出会うべき人に出会うようになっていく」という一節がありました。日々の業務に追われ、自分が何をしているのか考えることすら忘れていく自分にとって、この言葉は、何だかすごく気持ち良く感じました。それと同時に、人間って結局は自分らしく生きるしかないのではないかと思えました。想像できないことは達成しようがないけれど、想像できることは、努力し続ければきっと実現させることができるでしょう。何を想像し、それに向かってどう努力するかが、その人の個性であり、「自分らしさ」のような気がします。真面目に自分らしく生きて行きたいと思う今日この頃です。

編集担当・小澤 修一

がん治療センターニューズレター

成二十二年九月 第五号

創刊:平成二十一年五月(年三回発行)

発行元:順天堂医院 がん治療センター

住所:東京都文京区本郷三 一三

電話番号&ファクシミリ:

〇三 五八〇二 八一九六

Eメール: cancer@untendo.ac.jp

ホームページ: http://www.juntendo.ac.jp/hospital/cancer/index.html

c:/hospital/cancer/index.html